育成 モノづくり人材 Vol.44

愛知県立小牧工業高校

諦めない心 自主性を磨く

愛知県立小牧工業高校が重要視するのは、物事をやり遂げる粘り強さや諦めない心を育む内面の教育だ。工業高校として技術や資格の取得はもちろんだが、卒業と就職が直結する生徒が多い分、社会で困らない人間力の向上に力を注ぐ。地域や産業界と連携した教育も進める一方で、生徒の成長につながるようにと内容の充実に心を配っている。

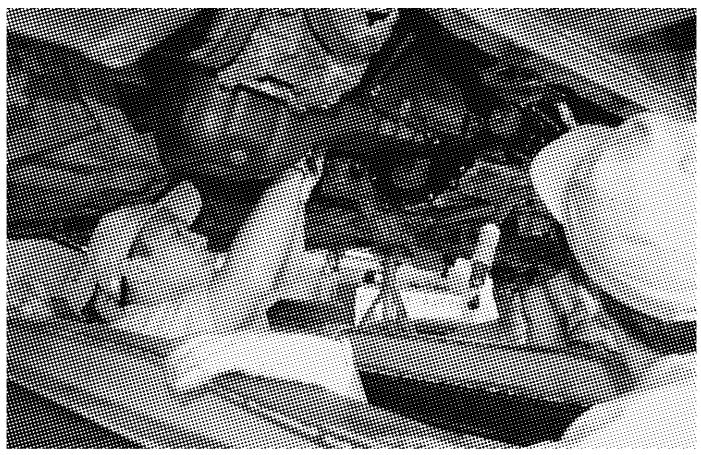
学科は機械、自動車、電気、情報技術、化学工業の五つ。加納修校長は「愛知県小牧市はさまざまな産業が集積する。地域産業界が求める幅広い人材を育成・輩出している」と話す。2017年度以降に航空産業科の開設を目指し、さらなる人材育成に挑む。

加納校長

【DATA】▷校長＝加納修氏▷所在地＝愛知県小牧市▷学科構成＝機械科、自動車科、電気科、情報技術科、化学工業科▷生徒総数＝699人▷主要設備＝3Dプリンター、旋盤、CAD、ハイブリッド車、ガス・アーク溶接機など▷主な進路＝ヤマザキマザック、日本ガイシ、リンナイ、三菱重工業、中部電力など

教育では「生徒自身で自分を高められるように促し、自分は何をしたいのか目的意識を育む」（加納校長）指導を心がける。また技術や資格の取得、部活動など「何か一つをやり切ることで成功体験を積んで欲しい」（同）と話す。学生のうちに困難から立ち直る経験を重ね、精神力や問題解決力を養う。

3年生ではチームごとの課題実習で技術を磨く。機械科では自転車を分解し、車輪を風車本体としてワークライトで発電する風力発電機をつくる。「自主性を重んじ、教員は最低限の助言にとどめる」（同）。他のチームでは排気量1リットルの1人乗り小型自動車を製作。ハイブリッドカーや省エネカーなど、部門別でいかに低燃費で効率よく走るかを競う大会「エコノパワーイン岐阜」に出場する。


自動車の整備実習に励む。整備士を目指す生徒も多い

自動車科は整備士を目指す生徒が多い。学校近くに「小牧自動車検査登録事務所」があり、整備工場が地域内に点在しているため身近な職業だ。14年度の卒業生は、約9割が自動車整備士3級に合格して就職している。

人命に深く関わるため「常に100％以上の仕事をするだけでなく、依頼以上の仕事ができるようにと教育する」（同）。部品交換なら周辺機器まで磨き上げて納品するような技術者を育てる。この成果は認められ、13年度の第13回高校生ものづくりコンテスト全国大会では、自動車整備部門で優勝した。

一流の技術者の育成に加え、「内面の磨き上げ方を常に考えている」と人材育成への思いは熱い。

（名古屋・一色映里奈）

（金曜日に掲載）

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社